

石川の土地改良

第643号 2020年2号

石川県土地改良事業団体連合会



コシヒカリの苗を植える早乙女（中能登町東馬場地区）

CONTENTS

- 第62回 通常総会 1
- 全国水土里ネット第62回通常総会 2
- 第3回理事会・監事会 2
- 会計ソフト販売のお知らせ 2
- 換地計画実務研修を開催 3
- 北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰
県内から2団体が受賞 3
- 県営ほ場整備事業東馬場地区において
「新嘗祭献穀田御田植式」を開催 4
- 「疏水のある風景」写真コンテスト 4
 - ・2019受賞結果
 - ・2020募集のお知らせ
- 人事異動 5
- 本会採用職員の紹介 5
- 令和2年度石川県土地改良事業団体連合会
事務局機構図 6
- 連合会日誌（1月～3月行事） 7
- 農業基盤整備資金の金利改定について 7
- 新型コロナウイルスへの対応について 7

水土を守り農村空間を創造する



水と緑のパートナー

みどり

水土里ネットいしかわ

第62回 通常総会

本会は、3月25日、第62回通常総会を石川県土地改良会館で開催した。今年は新型コロナウイルス対策のため、規模を縮小し、少人数で行った。

西村会長は、開会挨拶で「農業農村整備事業関係予算は、会員並びに土地改良関係者の皆様の力強い要請により、昨年度の補正及び今年度の当初予算、そして、臨時・特別の措置を加えて、6,515億円を確保することができた。本会では引き続き、「国土強靱化」「水田の高度利用対策」「中山間地域等の条件不利地域の振興対策」など、皆様の期待に応えるべく役職員一丸となって、努力していく」と表明した。

議長に邑知潟土地改良区の山本理事長が選出され、議事では、令和2年度事業計画・当初予算など全8議案が上程され、可決・承認された。



開会挨拶する西村会長

決 議

農業・農村は、国の大本であり、安全・安心な食料の安定供給はもちろん、豊かな国土や自然環境なども、農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。しかしながら、農業・農村においては、農業所得の減少や農業従事者の高齢化、担い手不足に加え、農家の減少により農地・農業水利施設等の維持管理に支障が生じるなど課題が山積し、地域活力の低下も懸念されている。

農業・農村を次世代に継承していくためには、担い手の育成や効率的な生産に必要な農地の大区画化、農業用水の安定確保に必要な農業水利施設の長寿命化対策、ため池等の耐震化や洪水被害防止など、農村地域の国土強靱化を図る防災減災対策の推進が喫緊の課題である。

我々は、農村地域の持つ魅力や多面的機能の発揮を通じて、農村地域の活性化を図り「水」、「土」そして「里」を守り、国民共有の貴重な財産として次世代に引き継いで行く重要な責務を担う者として、これまで培ってきた技術や経験を活かし、今後とも、農業政策の推進に積極的に貢献していく覚悟であり、農業の競争力強化と農業・農村の持続的な発展を確固たるものにするため、必要な予算の確保と左記事項の実現を総会の名において決議する。

記

- 一 農業の生産効率を高め競争力強化を図る上で不可欠な、ほ場の大区画化や汎用化、水管理の省力化と中山間地域等における農業経営の持続的発展に向け、地域の特性を踏まえた基盤整備の実施で、農地中間管理機構とも連携した担い手への農地集積・集約化を推進すること。
- 一 頻発する地震・集中豪雨等の自然災害は、農業のみならず地域住民の生活をも脅かすことから、老朽化したため池・農業水利施設等の更新・長寿命化・耐震対策・洪水被害防止対策強化等に係る取り組みを推進すること。
- 一 土地改良施設の公共的機能が益々増大する中で、農業水利施設の有効活用を図るため、計画的な整備補修による効率的な機能保持と、長寿命化に不可欠なストックマネジメントを推進すること。
- 一 農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮と地域の農村協働力を活かした地域ぐるみの活動を適切に支援し、農業の生産活動の継続と地域資源の保全・活用に重要な役割を果たす多面的機能支払を推進すること。

令和二年三月二十五日

石川県土地改良事業団体連合会
第六十二回通常総会

全国水土里ネット第62回通常総会

3月26日、全国水土里ネットの第62回通常総会が、都市センターホテル（東京都千代田区）において開催された。今年は新型コロナウイルスの影響により規模を縮小して行うことが決定し、本会は出席を見送った。

議事では、平成30年度決算、令和元年度中間報告及び補正予算、令和2年度事業計画及び当初予算など全12議案が上程され、いずれも全会一致で可決・承認された。最後に、第13号議案として、第62回通常総会決議案が朗読され、「闘う土地改良」の旗印の下に、一致団結して農業農村整備を推進していくことを全会一致により承認し閉会した。

なお、今回の総会において、小林祐一専務理事が退任され、その後任に元農村振興局長の室本隆司氏が選任された。

第3回理事会・監事会

2月21日に令和元年度第3回理事会が農林会館にて開催され、令和元年度事業中間報告、第62回通常総会提出議案等について審議が行われ、いずれも原案どおり可決・承認された。なお、理事会の席上で、永年25年勤続表彰が行われ、事業部測量調査課から石黒徳広課長補佐ならびに大場早苗課長補佐、換地課から新保博英課長補佐、設計課から竹下歩課長補佐が西村会長から表彰状並びに記念品を授与された。



また、理事会に先立って2月17日には、第3回監事会が土地改良会館で開催され、令和元年度業務等についての中間監査が行われた。

土地改良区役職員のみなさまへ

●新会計ソフトについてのお知らせ

農林水産省から令和元年度に、小規模土地改良区向けの簡易な会計ソフトが開発・販売されました。新会計ソフトは、従来のソフトに比べ、容易に仕訳が可能な製品（消費税に非対応、賦課台帳と非連動）となっています。製品の詳しい情報や導入等のご相談は連合会でも受け付けております。

●施設・財務管理に関するご相談について

本会では、毎月1日（土・日曜日、祝日の場合はその翌日）に定期相談日を設けておりますが、連合会に配置された税理士等の会計専門員の指導・助言が必要な際等に関しまして、随時相談を承っております。

換地計画実務研修を開催

石川県換地センターは、1月31日、石川農林会館において令和元年度換地計画実務研修を開催した。この研修は、土地改良区体制強化事業の実施要綱、同要領により換地等技術向上に資することを目的として、換地事務に従事している換地技術者等を対象に実施している。



本年度は県、市町、土地改良区、県土連の職員及び地区委員等合わせて42名が参加し、換地計画書作成実務に加え、未相続農地の円滑な処理が事業推進に結びつくことから金沢地方法務局より講師を招き相続登記に必要な法律知識を学んだ。また、石川県から土地改良法の一部改正について、施行後の更なる理解と適切な運用のため講義、石川県農業会議から農地の貸し借りの新しい制度の活用についての講義が行われ、参加者は熱心に受講し、換地業務への理解を深めた。

研修内容	講師
相続登記について	金沢地方法務局不動産登記部門 登記官 山本 憲政
土地改良法の一部改正について	石川県農林水産部農業基盤課 主 事 北橋 康平
農地制度をめぐる情勢	石川県農業会議 参 事 得田 信一
土地改良換地の知識	石川県土地改良事業団体連合会 課 長 菱村 忠
換地計画書作成実務	石川県土地改良事業団体連合会 担当課長 倉田 景一
質疑応答	石川県換地センター

研修カリキュラムは右記のとおり。

北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰 県内から2団体が受賞

北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰で、県内から2団体の受賞が決定した。

これは、多面的機能支払及び中山間地域等直接支払において、他の模範となる活動や取組みを北陸農政局が表彰するもの。なお、表彰式は、新型コロナウイルスの影響により取り止めとされた。

【県内の受賞団体】

＜多面的機能支払部門＞

美土里ネットはやしなか広域協定（白山市）

○美土里ネットはやしなか広域協定

手取川扇状地の中央部に位置する林中地区の7町会で構成する広域活動組織。自治会、女性会、子供会、土地改良区、社会福祉法人等を交えた多様な参画を得て活動に取り組んでいる。

地域住民等との交流活動では、ホテル勉強会や観察会の実施、農村文化の伝承活動として田植え、手刈りによる稲刈りのほか虫送り太鼓やかかし作り等の地域のコミュニティの強化に繋がる活動を行っている。

＜中山間地域等直接支払部門＞

美土里ネットなたち（七尾市）

○美土里ネットなたち

将来の農業継続や地域の活力低下が危惧される中、持続可能な営農や交流人口の拡大を目的とした「なたちサバイバル戦略」を立て、自発的に地域の活性化に取り組んでいる。

集落営農組織の設立による担い手への農地集積化の推進、鳥獣害対策、水害の協働復旧作業、芝桜の植栽等の景観維持活動に加えて、地区と連携した農業体験や農産物加工体験等を通して農村集落の賑わいの創出を図っている。

県営ほ場整備事業東馬場地区において 「新嘗祭献穀田御田植式」を開催

県営ほ場整備事業（面的集積型）東馬場地区の実施により、大型区画に整備された中能登町東馬場の農事組合法人「あぐりばんば」の代表理事 竹森 裕さんの水田で、「新嘗祭献穀田の御田植式」が5月18日に行われ、着物姿の早乙女8人が豊作を願いコシヒカリを植えた。

当地区は、ほ場整備事業を契機に、農事組合法人を設立し、農作物の販売増加と雇用創出に取り組んでいる。汎用化された水田では、小菊かぼちゃ、能登白ねぎ、金糸瓜等の「能登野菜」などの高収益作物を積極的に導入し、収穫された農産物は、近隣の道の駅「織姫の里 なかのと」でも販売し、好評を得ている。

収穫された新米は、11月23日の宮中行事「新嘗祭」にあわせて献穀される。



新嘗祭献穀田御田植式神事

「疏水のある風景」写真コンテスト2019 受賞結果

2月3日に砂防会館別館にて「疏水のある風景」写真コンテスト2019の審査会が開催された(主催：全国土地改良事業団体連合会、後援：農林水産省)。コンテストは平成18年から開催されており、疏水百選の広報活動の一環として、疏水の持つ多面的機能をより多くの国民に啓発することを目的としている。

今大会では、農業用水路などの農業水利施設を含めた農村の景観、ともに生きる人々や生活の様子などが撮影された142点の中から、入賞5点、入選20点が決定した。

「このお季節」
撮影場所：岩手県八幡平市
撮影者：藤江 拓



◎最優秀賞

「疏水のある風景」写真コンテスト2020 募集のお知らせ

- 1 題材** 農業用水路などを含めた農村の景観や施設とともに生きる人々、生活の様子、疏水を活用した地域づくりなど。
- 2 応募方法** 平成31年1月以降に撮影した未発表のもの、四つ切り又は四つ切りワイドのプリント
※応募票等詳細は、下記ホームページまで。
- 3 応募締切** 令和3年1月8日(金)(当日消印有効)
- 4 ご応募・お問い合わせ先** 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館4階
全国水土里ネット「疏水のある風景」写真コンテスト係
TEL 03(3234)5480 [ホームページ→http://www.inakajin.or.jp](http://www.inakajin.or.jp)
- 5 主催者等** 主催 全国水土里ネット(全国土地改良事業団体連合会)・疏水ネットワーク
後援 農林水産省

人事異動

○農林水産省 農村振興局

令和2年4月1日付

(新)			(氏名)	
農村政策部	地域振興課	中山間地域・日本型直接支払室長	平山周作	
同	都市農村交流課	農泊推進室長	富田晋司	
整備部	設計課	計画調整室長	登り俊也	
同	同	施工企画調整室長	志村和信	
同	水資源課	農業用水対策室長	植田康成	

○北陸農政局

令和2年4月1日付

(新)			(氏名)	
農村振興部	部長		桑原耕一	
地方参事官			那須慎吾	

【石川県新体制】

令和2年4月1日

農林水産部	部長	安田秀樹	
	参事(農林担当)	石井克欣	
	次長(事務)	柚森直弘	
	次長(農業土木担当)	古西広郎	
	次長(農林業公社担当)	北出一郎	
農業基盤課	課長	家元雅夫	担当課長
	担当課長(里山振興担当)	松村武志	(事業監理担当) 池田俊文
農業政策課技術管理室	室長	川崎智之	担当課長 池田千也
南加賀農林総合事務所	所長	橋前川順吉	土地改良部長 大島弘之
石川農林総合事務所	所長	林久義	土地改良部長 三浦正幸
県央農林総合事務所	所長	白池慎吾	土地改良部長 川崎義郎
中能登農林総合事務所	所長	山本秀紀	土地改良部長 橋本尚一
奥能登農林総合事務所	所長	石垣藤潤	土地改良部長 入田清
羽咋農林事務所	所長	田中広男	
大日川ダム管理事務所	所長	田中昌幸	

本会採用職員を紹介



氏名
木下 進
所属
事業部次長
兼 土地改良区体制強化支援
PTチーム企画担当総括

◆抱負及び自己紹介

再就職で本会に勤務することになりました木下です。
これまでの職務経験を活かし、また新たな気持ちで、土地改良事業の適切かつ効率的な運用の確保やその共同の利益増進に尽力してまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。



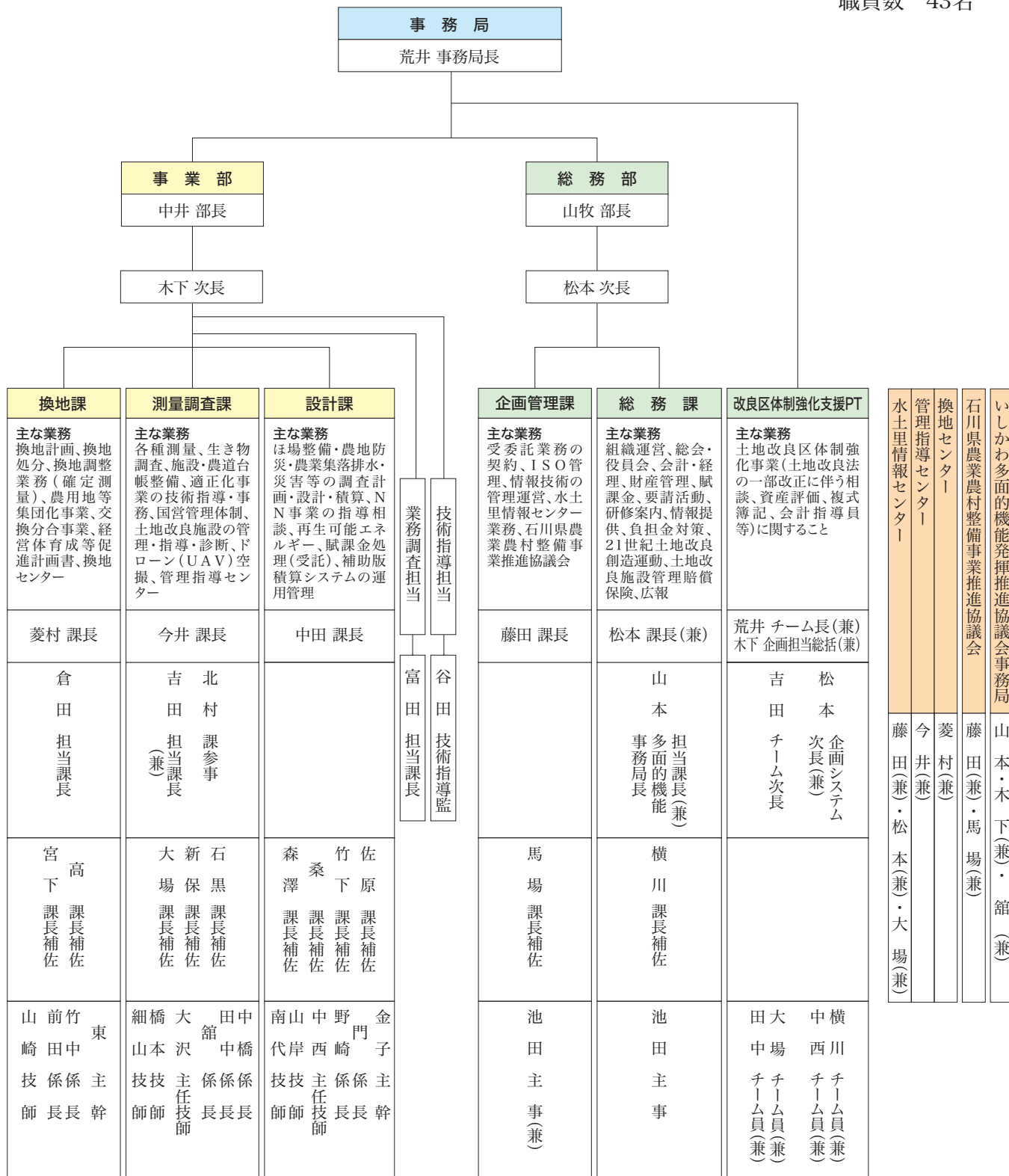
氏名
大沢 純一
所属
事業部 測量調査課

◆抱負及び自己紹介

私は、以前の会社では測量業務全般を主に行っていました。
これからは仕事を教わりながら勉強し、出来る業務を増やしていけるよう日々取り組んでいきたいです。まだ至らない所が多いかと思いますが、ご指導の方をよろしくお願いいたします。

令和2年度石川県土地改良事業団体連合会 事務局機構図

令和2年4月1日現在
職員数 43名



連 合 会 日 誌

1月

- 9日 都道府県水土里ネット事務責任者会議（東京都）
- 16・17日 JQA定期審査（土地改良会館）
- 20日 令和元年度北陸局管内多面的機能支払担当者会議（北陸農政局）
- 30日 石川県農政審議会（地場産業振興センター）

2月

- 12日 農業農村整備事業に関する予算説明会（地場産業振興センター）
- 13日 石川県経営構造対策事業推進委員会（県庁）
- 同日 河北潟沿岸地区管理体制整備推進協議会総会（河北潟農業研修館）
- 同日 河北潟干拓地区管理体制整備推進協議会会議（同上）
- 17日 第3回監事会（土地改良会館）
- 21日 第3回理事会（農林会館）
- 25日 地域環境資源センター理事会（東京都）
- 26日 NN広報会議ブロック代表事務責任者会議（同上）
- 同日 全国水土里ネット事務責任者会議（同上）

3月

- 2・3日 北陸四県土連事務責任者会議（富山県）
- 16日 農業会議臨時総会及び第48回常設審議委員会（地場産業振興センター）
- 25日 第62回通常総会（土地改良会館）
- 26日 全国水土里ネット第62回通常総会（東京都）



農業基盤整備資金の金利改定について

下記のとおり4月20日付けで改定されましたのでお知らせします。

◎株式会社日本政策金融公庫

区 分	2月時点	改 定 後
県 営	0.25%	0.35%
団 体 営	0.10%	0.20%
非 補 助	0.10%	0.20%

※災害については償還期間により利率が異なりますので、公庫にお問い合わせ下さい。

新型コロナウイルスへの対応について

農林水産省は、食料品の供給状況に関する情報や農林漁業者向けの情報などを発信しており、感染者が発生した際の対応及び事業継続に関するガイドラインも作成・公開しています。

全国で緊急事態宣言は解除されましたが、引き続き感染予防対策をお願いします。

農林水産省：新型コロナウイルス感染症について

(https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html)

編集兼発行：金沢市古府1丁目197番地
石川県土地改良事業団体連合会
電話 076-249-7181
印刷所：(株)谷印刷

